

厚生労働省職員派遣に係る報告会

御所市 取り組み事例報告

住民主体の活動支援 ～寄り添う支援を振り返る～

令和3年3月19日

御所市 福祉部 高齢対策課



人口 24,999人

うち65歳以上の高齢者の方が、10,158人

高齢化率は40.6%

うち要介護認定を受けておられる人が2,231人

(要支援：811人、要介護1,420人)

認定率は21.9%

(令和3年3月1日現在)

高齢化が多い御所市で、私たちが
取り組んでいること。

1. 生活援助訪問型サービスA(生活メイト)
従事者研修の実施

2. 住民主体型移動サービス(つつじメイト)
の創設に向けた取り組み

1. 生活援助訪問型サービスA(生活メイト) 従事者研修の実施

令和元年度より年1回の開催で、養成研修を実施。計24名の修了生を輩出している。

- 専用テキストの作成
- 計4回の座学の講義
- 介護現場実習
- 救命講習の実施



活躍の場へのマッチング体制の強化

現行の取り組みを行っていても「生活メイトを養成しても、活躍の場に繋がらない。」という悪い流れができ始めていた。

ここで、大きく方向転換

養成研修修了生を対象に、訪問介護事業所だけではなく、通所介護や入所系施設へも情報提供し、マッチング体制の強化を行った。

方向転換した取り組みの具体例

1. 生活メイト修了生が自分をアピールするプロフィールカードを作成。市内の事業所・施設に閲覧できる体制を整えた。
2. 奈良県福祉人材センターとのコラボ企画で、求人登録の仕方や御所市内の求人情報の取得方法を説明。
3. 御所市内の居宅介護サービス事業所や介護保険施設に対して、マンパワーの状況や生活メイトの今後の雇用等についてアンケート調査の実施。
4. 生活メイト養成事業マニュアルを策定。

生活メイトプロフィールカード

作成年月日 令和 2年 5月18日

登録番号 第0111号	氏名 (フリガナ) [REDACTED] (仮)	生年月日 [REDACTED] (仮)
性別 [REDACTED]	居住先 [REDACTED]	
職業 [REDACTED]	おたしの特技・趣味 [REDACTED]	
おたしは「パーソナル」と言われます 人見知りやおとなしい性格なので初対面の人とは話 しづらいところがあります。相手の声から声をか けてもらって、黙っていても、きこかたをもらって 話しかけてもらいます。会話することは好きで、相手の 話をしっかりと聞くことは出来ます。まじめで責任 感があるのですが、最後までできるとするタイプです。 しかし、1人でかまえておくことができるので、気を付け ています。	おたしの特技・趣味 ヨロハの塾、スーパーに行くのを月に1-2 回にして、まじめにしています。一週間の 予定を考えることが出来ます。料理をやるこ とも好きです。小さい頃からピアノを習っ ていました。今も楽しく弾いています。パン作 りも習ったこともあり、焼きたては作っ ています。今年に料理教室に行っていま す。今はコロナのため中止です。	
おたしの得意な品・やる気 まわりを眺めても、自然観察者の方が多いです。少しの手助けがあればと思っています。経験した ことのない事柄についてくことに対し、きちんと見聞できるが、相手の思いに伝えない、こんな時は どうしたら良いのか、不安でいっぱいです。経験を積むことでわかっていくことも多いと思いま すが、はじめは、どのような事柄に気をつければ良いのか教えて下さい。		
生活メイト以外に自分が利用している資格 [REDACTED]		
免許 1. 調理のそくしなど [REDACTED]		
2. 車の運転など [REDACTED]		
3. 食事の調理など [REDACTED]		
4. その他 [REDACTED]		
施設での関係的な業務 (アイサービススタッフ・掃除など) □やってみない 施設での環境整備 簡単な調理		

活動できる時間帯 [REDACTED]
サービス提供することにあたっての不安 (常業所に施設・フォーとしてほしいことなど) [REDACTED]
施設までの交通手段 [REDACTED]
サービス提供のために訪問可能な地域 [REDACTED]
その他 [REDACTED]
その他に自分が思うこと、事業所に聞きたいことなど、ご自由にお書きください。 [REDACTED]
今後生活メイトで活動する (働く) 意思はありますか? □はい □いいえ どちら中 □生活メイト以外にボランティアや他のサービス等に興味がありますか? □はい □いいえ 「はい」と答えられた方はボランティアや他のサービスに興味がありますか? [REDACTED]



助言を受けことも踏まえ、今後取り組んでいく課題について

1. 生活メイトの「活躍の場」を介護保険対象の事業所だけでなく、シルバー人材センターなども視野に入れて、市内のあらゆる関連機関とのマッチング体制を目指す。
2. 今後養成研修を、実際に人材を必要としている事業所に委託し、雇用の促進を図ったり、事業者が現に雇用する従業員に対し、養成研修への参加促進を促す。(助言より課題設定)
3. 養成講座カリキュラムに、コロナ感染対策や高齢者虐待に関する知識や対応方法などの項目追加の必要性もあり、今後検討が必要。
4. 人材雇用が進まない要因として、単価設定を行う際に、事業所が生活メイト修了生を雇用するに当たり、行政のみで協議するのではなく、事業所と協議をしながら単価設定を行うことも検討していく。(助言より課題設定)

2. 住民主体型移動サービス(つつじメイト) の創設のに向けた取り組み

令和2年3月、モデル地区を対象に移動サービスの創設を目指して、協議体分科会(つつじメイト)を発足。

□協議会を毎月実施(12月より月2回実施)

□先進自治体への視察

□移動サービス試験的(プレ)の実施

1回目はつつじメイトのメンバーで、2回目は実際に住民の方が利用者として参加していただいた。

□プレ実施の報告を実施。





あるものを活かす

一から移動サービスを立ち上げるのは大変。

モデル地区の民生委員の方が、住民の方の買物送迎をボランティアで行っていた。

ここからすべてが始まった。普段からやっていることなら、取り組みも前向きになれた。

話し合いだけでなく、「とりあえずやってみよう。やりながら、考えればいい。」これを合言葉に、成功体験(プレの実施、報告会)を作ることを優先した。

⇒つつじメイトメンバーの士気が上がった。

報告会が更にやる気を加速させる

プレ実施報告会を行ったが、市内の住民の方だけでなく、県内市町村の生活支援体制整備担当者の方も聴講に来てくれた。

ある自治体からは住民の方も参加いただき、プレ後に新たな取り組みが生まれたご報告もいただいた。

つつじメイトのメンバーも更に士気が上がり、他の自治体の方にも飛び火した。

現状の進捗状況

- マニュアルの整備やルール作りも大詰めを迎えている。
- 運転講習を市内の住民が通う、高齢者運転講習を行っている自動車学校に依頼している。
- 御所市認定移動サービスロゴマークの作成

助言を受けことも踏まえ、今後取り組んでいく課題について

1. 移動サービス創設に向けた取り組みを、当市だけの取り組みとして保有するのではなく、取り組み内容や成功体験を広く、他の自治体にも発信していく。
2. まずはつつじメイトメンバーに無理のない活動とし、拡大を焦らず、少しずつサービス体制の確立を行い、取り組み内容をパック化し、他の地域にも活用できるよう自在性をもたせるシステムとすること。
3. 移動サービスを継続するための後継者問題について、市役所の退職者に声をかけると共に、市内の医療法人、社会福祉法人、バス会社やタクシー会社などに対しても、退職者へドライバーとして活動してもらえよう、アナウンスを行っていただくよう依頼する。(助言より課題設定)

最後に希望として

今回の取り組みが当市の住民の方の力や自信になるのは基より、これが他の自治体に伝わることで、「自分たちの町でも」という意識が県内だけでなく、さらに全国に広がっていけば良いと思う。

移動サービスを課題として抱える市町村は少なくないと思う。事故などのリスクもあるが、怖がっていては何もできない。「恐怖心をも打ち消す、好奇心をもつ。」ことも大切。

自治体同士のつながりが、力強い味方になる。

ご清聴ありがとうございました。

